

給食だより11月号



津久井学校給食センター

11月の給食目標「郷土の味にふれよう」

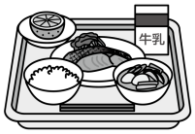
11月24日は和食の日、11月は和食月間です！



私たち日本人の伝統的な食文化である「和食」は 2013年ユネスコ無形文化遺産に登録されました。無形文化遺産とは、遺跡や自然などが登録される世界遺産とは異なり、土地の歴史や生活風習と深く関わる伝統や行事など、目に見えない文化を対象としています。食文化では「和食」のほかに「伝統的酒造り」が２０２４年に登録されました。毎年１１月２４日は和食文化国民会議が定める「和食の日」そして１１月は農林水産省が「和食月間」を位置付けています。学校給食ではごはんを中心に、だしのうま味を生かした汁物や旬の食材を使った料理を取り入れたのはもちろん、年間を通して行事食や郷土料理を提供し、「和食」文化に触れる機会を大切にしています。毎日の給食から「和食」を学んでみませんか？

給食から学ぶ和食文化

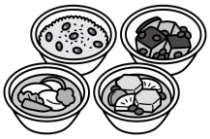
「ご飯・汁物・おかず」を組み合わせた、栄養バランスのよい食事



「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつから生まれる感謝の気持ち



行事食や郷土料理など、地域や日本に伝わる食文化





さがみはら大好き給食



１１月２０日は相模原市の市制記念日です。そこで、給食では市制記念日のお祝いに「さがみはら大好き給食」を実施し、お赤飯を作ります。また、市内でとれた野菜や津久井在来大豆で作られた味噌などを料理に取り入れました。

相模原市では豊かな自然のなかで、やまといも・さといも・さつまいも・じゃがいもや、小松菜・ほうれん草・ごぼう・人参・大根・長ねぎ・玉ねぎなどの野菜、梨・ゆず・ブルーベリーなどの果物、津久井在来大豆、たまご、豚肉、しいたけなどが生産されています。
みなさんも、相模原市で生産されているおいしい食べ物や相模原市のすてきなところを、たくさん見つけてください。



相模原市
食育推進マスコットキャラクター
サガピー

Ｑどうして食事の時にあいさつするの？

Ａ日本の食事のあいさつには、感謝の気持ちが込められています。「いただきます」には食べ物となる動植物の命をいただきますという意味があります。
「ごちそうさま」は食事をつくるためにかかわった多くの人への感謝の気持ちが込められています。